

「保険でより良い歯科医療を」 兵庫連絡会の取り組み

尼崎市・尼崎医療生活協同組合生協歯科 富澤 洪基（歯科医師）

兵庫県保険医協会では「保険でより良い歯科医療を」という運動に取り組んでいます。

この運動は、1990年代に真摯に国民のための医療をと願う先駆的な先生方の「保険で良い入れ歯を」運動に端を発し、署名などで声を上げ、良質な義歯の提供と、そして低かった義歯の診療報酬を上げることに伴い、以来一般の方々と共同しながら全国的に運動は続いていきました。

2000年代に入り、「保険でより良い歯科を」という名称に変更を行い、以来「保険でできる範囲の治療適応の拡大」「患者の窓口負担の低減」「低く抑えられている歯科の総医療費の拡大」を柱として運動を展開しています。

現在まで低く抑えられている歯科の医療費に加え、昨今のコロナ禍で歯科の受診率は激減、また、歯科技工士の厳しい労働環境や、歯科衛生士不足、そして金属の冠を作製しても剰余が出ない金バラ逆ザヤ問題など歯科を取り巻く環境はたくさん抱えています。この運動を通じ、これらの問題の解決の一助となり、国民の歯科保健力の向上と歯科診療所の安定した運営、そして質の高い歯科医療の提供に繋がりたいと願っています。

今回は、この取り組みの概要と、今後の課題について報告をさせていただきます。